

平成25年4月 第322号
 大代地区コミュニティ推進協議会
 (広 報 部)
 事務局：大代地区公民館
 TEL 022-364-8442

ふれあい

掲載目次

- 人物往来 消防団第六分団員新加入にご理解とご協力を 1
- 卓球大会を開催しました 2
- 公民館まつり実行委員長を務めて 3
- 大代の歩み (五十七) 4
- ふれあい短歌 4
- お知らせ 4

大代地区の世帯数 (平成25年2月28日現在) : 東区 346、中区 318、西区 295、北区 117、南区 580、合計 1,656

人物往来 (第7回) 消防団第六分団員新加入にご理解とご協力を

大代中区町内会長 小野 菊郎
 今回は、日夜火災、災害等が発生すると、サイレンと共に出動する消防団第六分団をご紹介いたします。

多賀城市消防団は、第一分団と第八分団、団員数178名(人員枠200名)で構成され、大代5区・桜木東区を第六分団が団員数18名で分担しております。

中区からは、伊藤勲分団長、伊藤幸則副分団長、伊藤寿男機関員、本郷定義機関員、伊藤久喜団員、茂泉芳巳団員、伊藤朋和団員、佐藤尚団員、本郷正樹団員、鈴木勝団員10名の方が活動しております。

入団されたきっかけは、それぞれ異なるかと思いますが、親、親戚関係等身近に消防団員として活躍された方がおり、消防団の役割が理解できる環境におられたからではないかと推察します。消防団活動の特殊性から、団員の高齢化は避けなければならず、常に若い方の入団が待たれるところですが、近年は、団員確保に困難をきたしております。

第六分団は、35名を有していた時期もありましたが、社会生活環境の変化もあり、現在は18名と減少しております。

伊藤分団長は、これまでも多くの方に消防団の使命について話をされ、ご理解をいただいで、現在の陣容となっております。



地域住民が、安全で安心して生活できる環境を作ることは、消防団の役割を地域社会全体で理解することから始まるものではないでしょうか。
大代地区は、J

X仙台製油所がすぐそばで稼動しており、震災時の火災を思い起こすと大災害に発展する恐ろしさを感じます。

東日本大震災では、身の危険も顧みず、地震発生時から避難の呼びかけ、避難者救援救助、安否確認、大代橋前での24時間警戒等日夜住民の安全確保に団員が当たられていたことは皆様ご存知のことと存じます。

団員の6割の方は、自宅に甚大な津波被害を受けたにも拘らず、消防団活動を優先していただきました。中には、自己所有車輛5台も犠牲にしてまでも活躍した団員もいるとのこと。周囲がヘドロ除去等進む中で、任務とはいえ、消防団活動に専念されたことについて、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

消防団の使命を地域社会からどのように理解を得るかですが、平常時の交流に求めるのが一つの方法と考えます。

防災訓練、夏祭り等において、消防団員を含めて企画会議を開催、交流できる内容を作り上げ実施できれば、住民から消防団活動がどんなものか理解され住民意識が変化するのではないかと期待が持たれます。また、住民の一員でもある団員の方々が、日常生活の中で、社会に奉仕する積極的な姿勢を垣間見る時にも、消防団員として活動する使命感を住民の方は改めて認識を深められることでしょう。

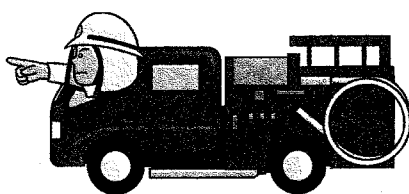
団員確保に必要なことは、地道に地域との交流活動を行うことです。

この地を、安全で安心して生活が出来る環境にして行くことが地域住民共通の願いであると思いますが、消防団活動を理解する事も一つの道であります。

地域社会を守る使命感は、何にも勝る奉仕活動であり、団員一番の誇りでもあります。消火活動、救助活動、水防活動、防火啓発活動、救命講演会、住宅防火訪問活動などに、私たち住民は目を向けなければならぬと思います。

消防団は、非常時における火災消火、風水害被災者救援等、消防署、警察と連携した活

動を行っておりますが、その任務を遂行するため各種訓練、装備の点検、技術研修を行っております。



平成24年度の記録を見ますと、火災時の出動13回、装備点検12回、広報11回、打ち合わせ会議23回と、限られた体制の中で、団員の安全を図りながら活動をされております。

なお、行政には、団員確保について、広報等への募集広告のみに止めず、消防団と地域住民との交流について、積極的な行動を取るように要望いたします。

卓球大会を開催しました

コミュニティ推進協議会

体育部長 針生 吉治

体育部担当の卓球大会を2月23日(土)に開催しました。体育部として卓球大会は初めての試みでしたが、大代地区公民館に新しく卓球台が入ったことから、多くの方が利用し、楽しんでもらおうと思い、企画いたしました。申込者は、シングルス16名、ダブルス8組で試合を行いました。

開催にあたり、対戦相手の組み合わせ、ル

ールの確認など、試行錯誤もありましたが、勝ち負けを競うことと合わせ、ゲームを楽しんでもらうことも考え、最低限度のルールを設定し、審判の方にも協力していただくことにしました。

当日は、予定どおり午後1時30分に試合開始、それぞれ白熱した試合となりました。

今回はトーナメント形式で試合を行いました。が、組み合わせや時間の調整など、さらに詰めて行う必要があったように思いました。参加していただいた皆さんには、スムーズに進行するよう協力していただきましたので、概ね予定時間に終了することができました。心より感謝申し上げます。

来年度も卓球大会が開催できるよう検討しておりますので、多くの方に参加していただきたいと思っております。

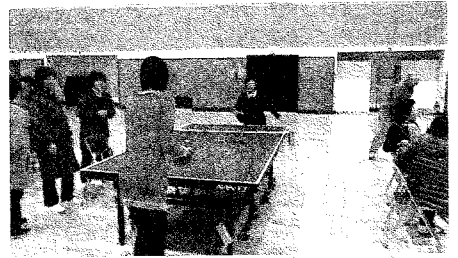
なお、今大会の入賞者は左記のとおりです。

シングルスの部

- 1位 星 徹 さん
- 2位 芳 賀 梅 子 さん
- 3位 佐 藤 洋 子 さん

ダブルスの部

- 1位 佐藤喜元さん・石井庄一さん 組
- 2位 熱海五郎さん・高橋秀秋さん 組
- 3位 後藤正志さん・小野政良さん 組



巧妙なサーブ、レシーブをする両者



互いに粘り強くラリーを続ける両者

公民館まつり実行委員長を務めて

大代地区公民館まつり実行委員会

実行委員長 渡辺 政美

(社交ダンスサークル 花夢花夢代表)

3月9日(土)・10日(日)に大代地区公民館まつりを開催しました。

私は、2年前の時も、実行委員長を務めました。その時は、翌日からの開催のため、多くの方が公民館に集まりパネル設置や、作品展作業、舞台発表の会場づくりなどをしておりました。

そうした中突然、地震、津波が襲い、展示作品も泥だらけになるなど、大代地区公民館の中も大きな被害を受けました。

公民館の閉館に伴い、利用する団体は、活動の場を失い、活動を休止したり、他の施設で活動せざるを得なくなりましたが、復興が

進むにつれて、人が集まり、公民館が再開した時は、活動する団体も少しずつ戻り始め、互いに再会を喜び合いました。

今年の公民館まつりの準備は、コミュニティ推進協議会のご協力をいただき、多くの方に手伝ってもらいました。

土曜日からの作品展示は、体験コーナーも含め、体育室と会議室で行いました。3年ぶりとはいえ、見学者の方には、各コーナーとも手慣れた説明や案内で、それぞれの作品を鑑賞していただきました。

また、会議室での切り絵とパンアート(粘土装飾)の体験コーナーもやさしく教えてくれて、大変好評でした。

1日目が終了し、2日目の日曜日は開会セレモニー、舞台発表も含めたイベントを行いました。

2日目の開会セレモニーでは、ご来賓の方や多くの一般参加者を前に、多賀城市長、教育長から祝辞をいただきました。

10時からの舞台発表は、社交ダンス、レクリエーションダンス、カラオケなど、見るだけでなく、一緒に踊って楽しむものもありました。

午後からの幼稚園、小学校1・2年生を対象にしたサッカースクールでは、元ベガルタ仙台監督で現在H・Sサッカースクール代表

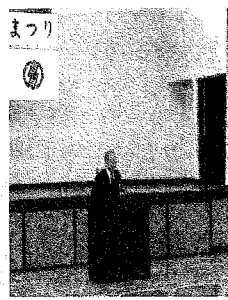
の清水秀彦さんに来ていただき、サッカーを教えていただきました。このほかにも、太极拳教室、ヨーガ教室を行い、たくさんの方に参加していただきました。

2日間に亘った公民館まつりは、多くの方々のご協力により無事に終了することができました。ご協力いただいた皆様には、改めて感謝申し上げます。

今年の開催は、震災復興から1回目という特性もありましたが、今後も多くの団体を取り込んで、少しずつ規模を大きくして盛大に行いたいと思います。



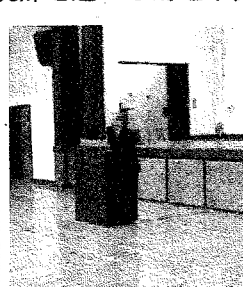
花夢花夢の皆さんによる社交ダンスの披露



祝辞を述べる菊地市長



切り絵など体験コーナーを楽しむ皆さん



祝辞を述べる菊地教育長

大代の歩み (五十七)

大代南区 渡邊 巖

昭和一七年六月の海軍工廠用地買収開始以来、土地所有者は、筆舌に尽くし難い辛酸を嘗めつつあった中、海軍工廠は同年一〇月に開庁した。が、本格的な操業は翌一八年三月から開始する予定で、工員の受入れ、必需物資調達の準備を進めていた。

ところが、操業開始後一年も経たない昭和一八年一二月一日、焼夷爆弾の製造中に大爆発が起こって火工部は火の海となり、報道秘匿のため推測であるが死者約三〇名で負傷者多数という大惨事となった。

この爆発事故による火災消火のため工廠の消防自動車は勿論、仙台の軍関係の消防自動車も出動して消火に当たったが、設置してある消火栓も水圧が極めて低く五メートルぐらゐしか放水できぬ状態で、危険なため放水を断念、其の直後に大爆発を起こしたもので結局、消火栓・消防自動車とも役に立たなかったという。

戦局が苛烈さを増した昭和一八年六月、有事即応体制に備えた学徒戦時動員体制により学校の修業年限短縮に始まった学徒動員は昭和一九年三月以降、中等学校以上の学生生徒は男女を問わず、新学期早々一斉に軍需工場の門をくぐり動員されることになった。

多賀城海軍工廠にも昭和一九年の四月頃から、火工部・機銃部を中心に多数の学徒が入

廠した。村内・仙台・塩竈など近隣在住の生徒は毎日電車で工廠へ通い、遠くは県外や県北の中学校・女学校から動員された学徒は、多賀城村内に建設された男女別の寮に引率の教師と共にそれぞれ入廠し、また、寮が不足していたので、寮の付近の民家に五〜六人ずつ割り当てられて宿泊した。これらの学徒は連日整列して工廠に向かい、『土曜、日曜あるものか』のスローガンのもとに終戦まで慣れぬ手つきで日夜、軍需品の増産に励んだのであった。

続く

ふれあい短歌 (老人センター編)

大代西区 藤田 遊子

八重桜 源七翁の 胸像に

善政称え 影映しをり

唐獅子の 口より出づる温水の

風呂に浸れば 生氣湧き出づ

律令の 御代ゆ活き来し 記念樹に

平和の春風 そよぎ来るなり



お知らせ

○大代防災対策協議会総会の開催について

日時 平成25年4月6日(土)

午前10時から12時まで

場所 大代北区集会所

連絡先 会長 米澤まき子

電話 361・1788

○「はつらつウォーキング教室」の参加者募集について

日時・行先(予定)

① 4月25日(木) 市内加瀬沼モリリン公園

② 5月23日(木) 愛子・サイカチ沼周辺

③ 6月27日(木) 泉ヶ岳青年の家桑沼周辺

④ 9月26日(木) ミステリーツアー

⑤ 10月24日(木) 秋保大滝・新川

事前研修会(オリエンテーション)

・日時 4月18日(木) 午前10時から

・場所 大代地区公民館

参加費(主に貸切バスの交通費)

・3250円(事前研修会無料) 保険料込

申込 4月11日(木) まで大代地区公民館に申込書を提出

詳しくは、

大代地区公民館(364・8442)

担当 及川、川村 にお尋ねください。